

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
330006	XZY2330006	2	前期	国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	2年
				情報文化学部情報文化学科	専門	選択必修	2年
現代中国論	區 建英			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×		
授業目的							
中華人民共和国は建国以来、国民経済の建設と民主化を進める上で、どのような路を辿ってきたのか。広大な領土には異なった言語・文化・宗教・価値観を持つ多くの民族があり、これら様々な民族はどのように共存するのか。また、東アジア諸国との関係、とくに日本との関係はどのような道を辿ってきたのか。これらの問題を、国際的背景とくに冷戦終結後の時代変遷、経済のグローバル化、および中国の経済急速成長という視野に置いて分析します。 民主化の問題については、中華人民共和国が置かれていた冷戦下の国際的環境を説明し、国際的な反覇権闘争と国内の民主化・国民経済建設とのジレンマを語ります。民族の問題については、多様性を重視する多民族社会の伝統と、近代国家の均質化傾向とのジレンマを乗り越えようとする試行錯誤を説明します。日中関係および東アジア諸国との関係については、冷戦時代の問題に触れながら現在の問題や課題に重点を置いて語ります。 授業は下記の計画で進めますが、授業の状況によって若干変更する場合があります。							
各回毎の授業内容							
第1回 【授】建国初期の国際環境―冷戦構造 【前・後】事前は、冷戦に関する図書を調べて読んでおく。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習すること。4時間必要。 第2回 【授】国民経済建設の屈折と文化大革命 【前・後】事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。 第3回 【授】冷戦終結と改革開放 【前・後】事前は、中国の改革開放に関する図書を調べて読んでみる。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習すること。4時間必要。 第4回 【授】経済成長と民主化運動 【前・後】事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。 第5回 【授】公民の成長と中国の変貌 【前・後】事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。 第6回 【授】格差問題と改善への取り組み 【前・後】事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。 第7回 【授】統一国家と多民族社会 【前・後】事前は、中国の多民族社会に関する図書を調べて読んでみる。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習すること。4時間必要。 第8回 【授】政治・経済・文化における民族関係 【前・後】事前は、中国の多民族社会に関する図書を調べて読んでみる。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習すること。4時間必要。				第9回 【授】民族政策の曲折と原点への復帰 【前・後】事前は、中国の多民族社会に関する図書を調べて読んでみる。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習すること。4時間必要。 第10回 【授】西部開発と「扶貧」 【前・後】事前は、中国の西部開発に関する図書を調べて読んでみる。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習すること。4時間必要。 第11回 【授】中国と東アジアの国際関係 【前・後】事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。 第12回 【授】冷戦終結後の全方位外交 【前・後】事前は、ポスト冷戦に関する図書を調べて読んでおく。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。 第13回 【授】中米関係の新しい模索 【前・後】事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。 第14回 【授】日中関係の新しい模索 【前・後】事前は、日中関係に関する図書を調べて読んでみる。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。 第15回 【授】大陸と台湾との兩岸関係 【前・後】事前は、戦前と戦後の台湾に関する図書を調べて読んでみる。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。 第16回 【授】定期試験 【前・後】事前は、総合復習。4時間必要。			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							10
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							
定期試験は70%、毎回の授業に提出するコメント(感想、質問等)は20%、出席の状況は10%。 学生諸君のコメントに対し、回答と評論をします。							
教科書参考書							
授業に配るレジュメ 教科書は、池田誠など著『図説 中国近現代史』大阪大学出版会 岡田臣弘著『21世紀の中国像』有斐閣選書 愛知大学現代中国学部編『ハンドブック 現代中国』あるむ							
受講に当たっての留意事項							
講義のメモを取りながらよく思考し、コメントを書くこと。レジュメをよく復習し、参考書をも積極的に読むこと。 学習到達目標							
中華人民共和国の歩みを把握し、現代中国の様々な事象を歴史、伝統、国際関係など複数の視点から捉え、中国社会を理解すること。よって、日中の新しい協力関係を模索する知を掴むよう期待します。							
JABEE							

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習